

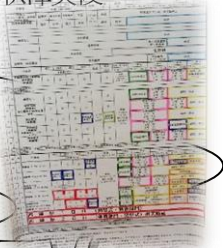
じそんのかね

自尊の鐘



韮崎西中学校 学校だより
2019.9.2. NO13
発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いつくしみ、自らをたっとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。



心をひとつにするために必要なこと -第54回西鐘祭の取組-

先週の金曜日から、西鐘祭の取組が始まりました。前日の29日(木)には、体育館で生徒会主催の「西鐘祭決起集会」も行われ、各部門や縦割りグループのリーダーが意気込みを発表したり、縦割りグループのはちまきの色を決めたり、グループごとに「エイエイオー」のシュプレヒコールをしたりと西鐘祭へ向けての意気込みをみんなであらわしました。その他、生徒会から取組中に時間を守ることや、玄関に貼られた部門の毎日の予定を確認するなどの細かい連絡もあり、いよいよ始まるんだという気持ちを持つことができました。この日は体育館のエアコンの設営日でもあったので、試運転もかねて生徒達は涼しい体育館の中で快適に決起集会を行うことができました。ありがとうございました。エアコンも天候に応じてしっかりと使っていきたいと思います。



今年の西鐘祭のスローガンは「輝跡(きせき)」です。西鐘祭実行委員会の「生徒会通信」によると、このテーマにした理由が次のように述べられています。

西鐘祭当日の2日間だけでなく、取組期間からそれぞれの役割や集団の中で生徒一人一人が輝けるような西鐘祭にしたいと考えたからです。またその取組や当日の経験から得られたものが、学園祭の時だけではなく輝かしい足跡となって、また、強い絆となって残ったりかけがえのない思い出として残ったり、良き伝統としてつながってほしいという意味も込めて、あえて「輝く・跡」として「きせき」と読むテーマとしました



ひとりひとりが輝き、それが思い出や伝統として輝いた跡になり残っていく西鐘祭、すばらしいテーマであり、今年の生徒会スローガン「伝灯~つなぐ伝統、つくる伝統」にもつながるものだと思います。それぞれが自分の役割をしっかりと果たしつつ、決起集会で話しましたが、学年や学級、縦割りグループで、「みんなの心をひとつに」するために、「自分はどうかあるべきか」、「何をすべきか」、「何をしたいのか」、しっかりと考えて西鐘祭の取組に臨んでほしいと思います。今年はどうな西鐘祭になり、生徒達がどのように成長していくのか、今からとても楽しみです。

各部門長のあいさつ



縦割りグループのはちまきの色決め



シュプレヒコール



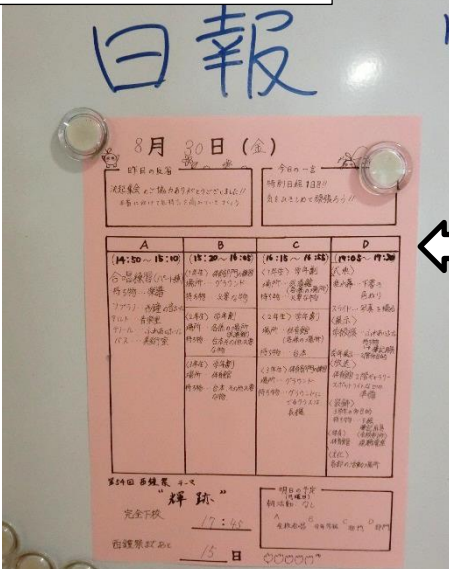
体育館の両サイドに5台ずつ設置されたエアコンです



毎日手作りの日報も出ています



日報



正面玄関を入ると、その日の西鐘祭の取組予定(日報)や各部門の予定等が示された掲示板が設置されています。

登校時や休み時間に生徒はこれを見て、取組予定を確認することができます。

さっそく長縄跳びの練習が始まりました

